

患者向け説明書：沈降破傷風トキソイド(破傷風ワクチン) この説明書は、沈降破傷風トキソイド接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

破傷風とは

- **原因:**破傷風菌 (*Clostridium tetani*) が産生する毒素による感染症。
- **感染経路:**土壌や動物の糞便に存在する芽胞が、傷口から体内に侵入して発症します。
- **症状:**筋肉のこわばり、けいれん、嚥下困難、呼吸障害。
- **重症度:**致死率が高く、発症すると命に関わる危険があります。

ワクチンの特徴

- **種類:**不活化トキソイドワクチン(毒素を無毒化したものをアルミニウム塩に吸着させた沈降ワクチン)。
- **効果:**破傷風毒素に対する抗体を作り、感染時の発症を防ぎます。
- **安全性:**長年使用されており、安全性が確立されています。

接種スケジュール

- **小児期に基礎接種(3回以上)が完了している場合:**最後の接種から10年以上経過している場合、通常は1回の追加接種で十分です。
- **小児期に接種歴がない、または不明な場合(主に1968年(昭和43年)以前生まれの方):**3回の接種が必要です。1回目と2回目は3~8週間の間隔をあけて接種します。3回目は2回目の接種から6~12ヶ月後に接種します。

副反応について

- **よくある副反応:**注射部位の発赤、腫れ、痛み。
- **全身反応:**発熱、倦怠感、頭痛。
- **まれな副反応:**強いアレルギー反応(アナフィラキシー)。

接種が推奨される方

- 農作業や建設作業など、土壌や金属片での外傷リスクが高い職業の方。
- 外傷を負った方で、過去の接種から時間が経過している方。
- 海外渡航者(特に医療体制が十分でない地域へ行く方)。

接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 過去にワクチンで強い副反応があった場合は必ず医師に伝えてください。
- 妊娠中・授乳中の方は医師に相談してください。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 注射部位の腫れや痛みは数日で改善することが多いです。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

まとめ

破傷風は傷口から菌が侵入して発症し、致死率が高い危険な感染症です。沈降破傷風トキソイドは安全性が高く、定期接種や外傷時の追加接種によって予防が可能です。10年ごとの追加接種を忘れずに行うことが重要です。

この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。